文化・人づくり分科会　中間報告（キーワードの整理）

１．これからのまちづくりの視点

（視点１）
子孫のために 100 年後を考えたまちづくりに取組む

（視点２）
市民が自らつくり上げる小さな文化活動・表現活動を育てる

（視点３）
誰でも身近でスポーツを楽しむことのできる仕組みをつくる

（視点４）
地域の人材や文化活動、スポーツ活動を子どもたちの教育に生かす

（視点５）
札幌ならではの文化やスポーツの魅力を発信し、人々の交流や活動を活性化する

２．取組みの方向と課題

（方向１）自然と共生する価値観や文化を育てる取組みを展開
- アイヌ民族の歴史と文化の尊重
- 自然と共生する生活文化の見直し
- まちなかの森や川を再生する取組み

（方向２）小さな表現活動の場を広げるための取組みを展開
- 公共施設・公共空間の有効活用
- 小さな表現活動を支援する仕組み
- 活動団体のネットワークづくり

（方向３）地域のスポーツ活動を支える仕組みづくりを展開
- 公共スポーツ施設の有効活用
- 部活の機能低下を地域が担う仕組み
- 地域スポーツを支える人材の確保

（方向４）地域の人材や活動を子どもの教育に生かす取組みを展開
- 学校と地域との連携づくり
- 芸術・文化を体験する取組み
- 家庭の教育力を向上させる取組み
- 高齢者など地域の人材の活用

３．当面の重点的な取組み

アイヌ文化の啓発と発信
- ●アイヌ民族の歴史、文化に関する理解を広げる
- ●アイヌ民族の伝統文化、生活文化を発信する場づくり
- ●重要文化財に指定された団体や人材の活動を支援する取組み

小さな表現活動の場づくり
- ●公共施設・公共空間を市民の表現活動の場として活用
- ●子どもたちや地域の人々が共に芸術・文化を楽しむ場づくり
- ●不登校の子どもたちが社会と接する活動の拠点づくり
- ●若者の表現活動を支援する取組みを展開

総合型地域スポーツクラブづくり
- ●体育振興会の蓄積を生かした仕組みづくりを展開
- ●種目別クラブの連携により総合型クラブへ展開
- ●地域クラブの活動を情報発信するシステムを構築

地域社会と教育の接点と連携づくり
- ●芸術・文化体験を通して子どもの社会性を育む取組み
- ●音楽や演劇をつくり上げるプロセスを体験する取組み
- ●民間フリースクールの特色ある教育の場を学校教育に生かす
- ●地域と学校の関わりを深める

４．行政施策の提案

アイヌ文化教育の実践
- ●学校教育でアイヌ文化の総合的学習を実施
- ●市立大学でアイヌ文化の学科や講座を開設
- ●アイヌ語地名の日本語との並列標記を普及

公共施設・空間の規制改革
- ●公共施設・公共空間の多面的活用に関する規制緩和
- ●身近な公共施設や学校を文化活動の場として開放
- ●都心の廃校を活用したモデル事業の実施
- ●若者の表現活動に対する支援・助成制度を創設

地域スポーツクラブのモデル構築
- ●総合型地域スポーツクラブのモデル事業を実施
- ●学校と地域クラブとの連携システムづくり
- ●公共スポーツ施設を使いやすくするシステムづくり

地域との連携による教育の実践
- ●芸術・文化施設を結ぶカルチャースクールバスの運行
- ●民間のフリースクールと学校との連携・交流の推進
- ●教育現場に地域の人材を活用するシステムづくり
- ●地域との連携による学校運営の実践

５．実践のための手法と仕組み

地域の活動拠点づくり
- ●連絡所を情報交流やネットワークづくりの拠点に活用
- ●ＮＰＯが連絡所などの運営を行うモデル事業を展開
- ●ＮＰＯが地域の公共施設を管理する仕組みづくり

人材の育成と活用
- ●市民の身近な場所で多様な学習機会を提供
- ●公共施設の運営をボランティア研修の場として活用
- ●高齢者が子どもたちの教育に活躍する仕組みづくり
- ●市立大学と地域の大学や諸施設との連携の仕組みづくり

ハイレベルな文化・スポーツの活用
- ●ハイレベルなアートと市民活動をつなぐ仕組みづくり
- ●プロスポーツと地域スポーツをつなぐ仕組みづくり

札幌文化の発信
- ●まちなかで札幌の文化をアピールする仕掛けづくり
- ●まちなかで冬のスポーツ文化を発信する仕掛けづくり